

令和4年7月11日

岩手県知事
達増 拓也 様

《一般国道397号の整備促進に係る》

要 望 書



【冬期間閉鎖となる岩手県・秋田県境（岩手県側の春の除雪状況）】

国道397号整備促進期成同盟会
会 長 岩手県奥州市長 倉 成 淳



国道 397 号の整備促進について

国道397号につきましては、関係機関の御配慮により、逐次整備促進が図られておりますことに厚くお礼申し上げます。また、念願となっていた新小谷木橋しんこやぎが開通し、心より感謝申し上げます。

この国道は、岩手県南臨海部や秋田県東南部から東北縦貫自動車道水沢インターチェンジ、奥州スマートインターチェンジ及び東北新幹線水沢江刺駅等の高速交通拠点へのアクセス道としての役割や、さらには岩手中部金ケ崎、江刺中核両工業団地と重要港湾大船渡港を結ぶ産業道路としての機能をもつ幹線道路であり、古くから産業、経済、文化面等地域間交流で重要な役割を果たしてきた歴史があります。

また、東日本大震災においては、救急活動や救援物資輸送道路として重要な役割を果たし、岩手県では復興支援道路として指定されている重要な路線でもあります。

しかしながら本路線は、岩手県奥州市胆沢地内いさわの尿前溪谷橋しとまえから秋田県東成瀬村間が11月から翌年5月まで約半年にわたり冬期通行止めとなり、この間、県境越えのルートがなくなることにより経済交流が阻まれ、雪国の生活の安定と地域の振興に障害となっております。

秋田県内陸部と岩手県沿岸部を結ぶ国道397号は、災害時における緊急輸送や高次救急医療機関への確実な搬送の確保など「国民の命と生活を守る道路」として極めて重要な道路であり、必要な幹線道路として位置付けております。

つきましては、円滑で安全な交通確保のため国道397号が抱える諸課題を御賢察のうえ、その解消及び緩和を図るため次の事項につきまして特段の御高配をお願い申し上げます。

記

- 1 奥羽山系を横断する奥州市 いさわしとまへ胆沢尿前溪谷橋から東成瀬村間の冬期間における通年通行確保のための整備及び具体的手法の調査・検討
- 2 冬期通行止め区間のゴールデンウィーク前の早期解除
- 3 奥州市 いさわあたご胆沢愛宕以西の歩道整備
- 4 奥州市 いさわ なつ た胆沢南都田字 しみずした清水下から うわだい上代区間の両側歩道整備
- 5 奥州市 いさわ なつ た胆沢南都田字 もとき本木地内の歩道拡幅
- 6 こがいざわ子飼沢トンネルから くりき栗木トンネル間の抜本的な改良



【子飼沢トンネルから東のカーブが続く狭隘区間】

国道397号整備促進期成同盟会 役員・委員名簿

(令和4年7月12日現在)

会 長	岩手県	奥州市長	倉 成	淳
副会長	秋田県	横手市長	高 橋	大
副会長	岩手県	大船渡市長	戸 田	公 明
監 事	秋田県	東成瀬村長	備 前	博 和
監 事	岩手県	住田町長	神 田	謙 一
委 員	秋田県	横手市議会議員	寿松木	孝
委 員	秋田県	横手市議会議員	菅 原	正 志
委 員	秋田県	東成瀬村議会議員	富 田	義 行
委 員	秋田県	東成瀬村議会議員	佐 藤	正次郎
委 員	秋田県	湯沢市長	佐 藤	一 夫
委 員	秋田県	湯沢市議会議員	渡 部	正 明
委 員	秋田県	湯沢市議会議員	石 川	隆 一
委 員	秋田県	羽後町長	安 藤	豊
委 員	秋田県	羽後町議会議員	阿 部	養 助
委 員	秋田県	羽後町議会議員	石 垣	俊 二
委 員	岩手県	奥州市議会議員	菅 原	由 和
委 員	岩手県	奥州市議会議員	及 川	佐
委 員	岩手県	住田町議会議員	瀧 本	正 徳
委 員	岩手県	住田町議会議員	阿 部	祐 一
委 員	岩手県	大船渡市議会議員	三 浦	隆
委 員	岩手県	大船渡市議会議員	森	亨
委 員	岩手県	陸前高田市長	戸 羽	太
委 員	岩手県	陸前高田市議会議員	福 田	利 喜
委 員	岩手県	陸前高田市議会議員	畠 山	恵美子

秋田



岩手

2市1町1村
横手市
東成瀬村
湯沢市
羽後町

同盟会加盟市町村

3市1町
奥州市
住田町
大船渡市
陸前高田市

国道397号整備促進期成同盟会

国道 397 号整備促進期成同盟会事務局

〒023-1192

岩手県奥州市江刺大通り 1 番 8 号

奥州市 都市整備部 土木課

電話 0197-24-2111 (代表)

FAX 0197-35-2623